

団体名 山口県釣り団体協議会 (周南市)

代表者名	岡村 晴義	団体の目的
構成員数	190人	・山口県の釣り場の環境整備保全および遊漁としての釣りの健全な普及、発展を図ること
設立	S46年	
問い合わせ先	☎090-8243-4335 (柳原)	

事業名 稚魚放流・海辺清掃活動

事業の目的

- ・下松市の洲鼻海岸で漂着ゴミを回収する
- ・きれいになった海岸で稚魚を放流することにより、水辺環境の保全の重要性を園児や保護者に理解してもらう

事業の内容

- ・洲鼻海岸清掃・稚魚放流イベントの実施
日時：8月19日(土) 8:45~11:45 場所：洲鼻海岸(下松市)
内容：近隣の愛隣幼児学園、平田保育園の園児と保護者、職員とともに、下松市や「瀬戸内の海を美しくする会」と協働して、海辺の清掃とゴミの回収及び分別を実施。その後、ヒラメの稚魚を園児とともに笠戸湾に放流した
参加者：約100人

事業の成果

- ・海岸には漂着ゴミだけでなく、浜辺でのレジャー後のゴミが残っていることに参加者から驚きの声が上がっており、日常生活における環境保全意識についても高めることができた。また、海岸のゴミの実態についての理解も進んだ
- ・園児は放流活動に積極的に参加しており、全体をとおして水辺環境の保全の大切さについて気づいていただけた様子
- ・活動を体験する園児や保護者、ボランティアの人数は増加してきており、環境保全の重要性や活動の輪を拓げるためにも、今後も継続していきたい

活動現場レポート！ 洲鼻海岸清掃・稚魚放流 (H29.8.19/下松市洲鼻海岸)

この日は「瀬戸内の海を美しくする会」や「周南清港会」と協力して海岸清掃と稚魚放流が行われました。

海岸清掃では、参加者が海岸付近のゴミを拾い集め、市の指導によって適切に分類収集されていました。ゴミは軽トラック3台分にもなり、参加者のみなさんはあまりの多さに驚かされていました。

稚魚の放流は、子ども達に海や自然を大切にする気持ちや生き物への愛着を持ってほしいとの思いから実施されているもので、14cm程度のヒラメ2,500匹が市内の園児ら36人によって笠戸湾に放流されました。

真夏の炎天下での行事でしたが、参加されたみなさんは笑顔で活動に取り組み、美しくなった海岸と、海の中で育っていく新しい命に思いを馳せているようでした。



ごみ袋を片手に奮闘する園児たち



稚魚を放流

